

6回生 必修科目「コミュニケーション英語Ⅲ」授業のシラバス

教科名	外国語	科目名	コミュニケーション英語Ⅲ	単位数	3単位
科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を更に伸ばし、社会生活において活用できるようにする。				
教科書	Power On Communication English III (東京書籍)	副教材	英文法・語法 Vintage 3rd Edition (いっすな書店) 総合英語 FACTBOOK (桐原書店) 新ユメタン2 (アルク)		

1 学習の目標

- (1) 習熟度に応じた英語運用のアクティビティを通し、英語を実際に使える訓練をする。
- (2) コミュニケーションツールとしての英語を駆使して、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

英語運用の4技能の目標

聞くこと	○主題のはっきりした話について、重要な情報を理解することができる。 ○身近な話題について、自分の意見と比較しながら、他人の意見を聞くことができる。
話すこと	○自分になじみのある話題について英語で話し合ったり、出来事などについて英語でやりとりができる。 ○相手の質問に対して、ある程度まとまった内容を、適切に話すことができる。
読むこと	○教科書の本文について、複数の段落間のつながりや文章全体の構成を理解できる。 ○英語で書かれた内容について、自分の意見と対比しながら、読むことができる。
書くこと	○自分の興味ある話題やものに対して、読み手を意識しながら、意見や感想を発信することができる。 ○自分の意見に対して、いくつかの理由を列挙して書くことができる。

2 学習の方法

- (1) 予習について
コースによって若干予習方法等は異なりますが、予習より復習が中心の授業になります。
- (2) 授業について
コミュニケーション英語Ⅲではとにかく多くの英文を読んでいくことを主眼に授業を進めます。Basic コースでは単文レベルで文法をしっかりと確認することが求められます。文法事項を確認しながら、英語の理解を完璧にすることを目的に、着実な定着を目指していきます。Standard コースでは教科書本文をしっかりと解釈するため、文法や構文の理解を基盤にして、本文の要旨を的確に捉えていくことを目指します。Master コースでは本文の読解はもちろんのこと、国立大学二次試験を意識した和訳や要約などの演習も行っていきます。また、各コースとも、リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングを用いて、実際に英語を使うことを目指します。
- (3) 復習について
習った事項を実際に使えるレベルまで高めるために、語彙や文法や読解の確認を進め、それと同時に内容を理解したうえで相手に伝わるような音読の練習をしていきましょう。

〈学習アドバイス〉

英語はただ頭で覚えているだけでは、何の役にも立ちません。もちろん、ただ闇雲に話そうとするのもまた、意味がありません。知識として理解したものを反復し、実際に使ってみようとする心がけが大切です。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
①関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。主に、アクティビティへの参加・協力や、課題の取り組み、授業で扱われた題材への興味・関心で評価します。
②表現の能力	外国語を用いて、情報や考えなど伝えたいことを話したり、書いたりして表現する。主に、英語を用いて話したり、書いたりする能力で評価します。
③理解の能力	外国語を聞いたり、読んだりして、情報や話し手や書き手の意向など相手が伝えようすることを理解する。主に、英語を聞いたり読んだりして、中身を理解する能力で評価します。
④知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともにその背景にある文化などを理解している。主に、文法や英語の基礎知識が身につけているか、授業で扱われた題材についての周辺知識を理解しているかで評価します。

(2) 評価の方法 (以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する)

観 点	評価材料		Grammar	Essay Writing	Speech 等	Discussion	other activities
	定期考査・休業明けテスト						
①関心・意欲・態度		授業中のアクティビティに関する問題、自由英作文 等		○	○	○	○
②表現の能力	○	英作文、語句整序、自由英作文 等		○	○	○	○
③理解の能力	○	発音・アクセント、リスニング、読解問題(教科書の題材および応用問題) 等				○	○
④知識・理解	○	Vintage など文法語法問題、教科書題材の背景知識等に関する問題 等	○				○

〈担当者からのメッセージ〉

- 定期考査では、文法・語法、語句整序、読解、自由英作文、リスニング等の問題が出ます。教科書本文以外からも出題されるので、普段から使える英語力を身につけることを心がけてください。
- 分からないことは、FACTBOOK や Vintage できちんと調べておく癖をつけましょう。また、授業中でも分からないことはそのままにせず、きちんと質問しましょう。
- 習熟度別のクラス編成については、定期試験その他の資料等を参考に実施します。

■本校で目指す生徒像と身につける資質・能力

高い知性						豊かな人間性			健康な心身		郷土愛と国際性	
探究心		情報活用力		調整力		自律心	寛容さ	感受性	生命尊重の心	強くしなやかな心身	日本人としての誇り	多様性の尊重
関心・意欲	問題発見力	情報収集力	論理的思考力	共感的態度	意見交換・調整力							
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
課題に関心を持ち、問題発見・解決へ向けて意欲的に取り組むことができる。	生じている問題や今後生じうる問題について理解し、解決方法を提案することができる。	多様な視点から必要な情報を収集し、整理・分析して、意見に結びつけることができる。	事象や関係を把握し、多様な情報を整理・分析し、論理的に思考することができる。	相手の感情、思考、行動を理解し、共感を示すことができる。	他者の主張を理解し、自分の主張と調整し、互いに納得できる結論を得ることができる。	強い意志をもち、周囲に流されることなく、困難に立ち向かうことができる。	異なる価値観や多様な特質を理解し、尊重しながら、互いを高め合えることができる。	有形無形の美や自然に対し、その価値を素直に受け止めることができる。	命の尊さと健康の大切さを理解し、何より自他の生命を尊重することができる。	困難に負けない強い心と体を持ち、あらゆる課題に対して柔軟な対応ができる。	郷土に対する深い理解と愛着を持ち、日本のよさを伝えることができる。	世界の多様性を理解し、多面的・多角的な視野から他者と接することができる。

4 授業計画

月	単元	学習内容	評価の観点	考査等	資質・能力
4	Unit 1 Lesson 1 非言語 言語 Emoji as a Universal Language Lesson 2 シンボル 言語 How was the Olympic Symbol Created? Lesson 3 動物医学 言語 Zoo Dentist	基本的な Reading Skills 主語と述語 基本的な Reading Skills パラグラフと話題文 基本的な Reading Skills 文章の構成	③文の主語と述語動詞の働きに着目しながら内容を的確に読み取ることができる。 ③パラグラフの構成、話題文、支持文、結論文の役割に着目しながら内容を的確に読み取ることができる。 ②トピックについて適切な表現を用いて自分の意見を話したり、書いたりできる。 ④序論、本論、結論の構成を理解している。		ABCD ABCD ABCD
5	Lesson 4 出会い 言語 The First Four Minutes of an Encounter Lesson 5 努力 言語 A Promising Surefer from Japan	基本的な Reading Skills ディスコースマーカー①列挙 基本的な Reading Skills ディスコースマーカー②因果関係	①列挙を示すディスコースマーカーの使い方に関心をもって読もうとする。 ④例挙のディスコースマーカーの使い方を理解できる。 ②因果関係を示すディスコースマーカーに着目し、内容を的確に読み取れる。		ABCD ABCD
6	Unit 2 Lesson 6 異文化理解 言語 Where Does Halloween Come from? Lesson 7 科学 言語 A Science Award That Makes You Laugh, and Then Think	付帯状況を表す with 対比を表す接続詞 while	①個人、ペア、グループ等で本文の要約・音読に積極的に取り組むことができる。 ④付帯状況を表す with についての知識を身に付けている。 ②内容について意見を述べるができる。 ③要旨を捉え、情報を整理・理解できる。 ④対比を表す接続詞 while の知識を身に付けている。	1 学期 中間考査	ABCD ABCD
7	Lesson 8 生き方 言語 A Nature Photographer in Alaska	関係代名詞 what	③文章の論理的構造を捉え書き手の意図を推測することができる。 ④関係代名詞 what の使い方を理解している。		ABCD
8	Lesson 9 歴史 言語 The History of English Tea	while [when] (S + be 動詞)	②本文の要約を、学んだ語句、表現を活用し、自分の言葉で話すことができる。 ④while [when] (S + be 動詞)の知識を身に付けている。	1 学期 期末考査	ABCD
9	Lesson 10 生物 言語 Water and Living Things	否定を表す形容詞・副詞	①本文の要約や、トピックについて積極的に話したり、書いたりできる。 ④否定を表す形容詞・副詞についての知識を身に付けている。		ABCD
10 11 12 1	基礎文法マスター、大学受験対策	コース別に「基礎文法マスター」や「大学入試対策」等を行う	②口頭、記述を含む正しい表現方法の演習をする。 ③筆者、出題者の意図を読み取る方法を学ぶ ④語彙、文法等の基本知識を増強する。		CD

※ 評価の観点①は関心・意欲・態度、②は表現の能力、③は理解の能力、④は知識・理解を表しています。

※ 授業計画は進度により前後することがあります。